

回想法センター・9月号

平成26年 8月29日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-meil pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

残暑お見舞い申し上げます

介護保険は誰のもの？

介護保険の更新の手続きに調査員が来ました。介護保険更新の質問項目は、ほとんどが身体に関することばかりです。家族の介護負担への配慮ありません。介護保険は、本人と家族の大変な部分を肩代わりすることで、家族の介護負担の軽減を図るのが目的だったのではなかったのか。

私の99歳になる母も、介護する家族も望むサービスがありません。介護サービスを使ったことはありませんが、母は、今も介護保険料を払い続けています。本人や、介護をする家族が必要とする介護サービスを介護保険に担ってもらわないと、いつまでたっても家族の介護負担は減らないと思います。

介護保険料は、上がるばかりで、それも年金から文句なく天引きされています。福祉に使うと消費税が値上げされましたが、福祉が改善され福祉がよくなるどころか、社会保障費が削減の流れになってきています。来年には、介護保険の見直しがあります。老老介護、老老認知症など、高齢者を取り巻く環境は厳しくなっています。介護保険は、誰のためのものなのでしょう？。「介護保険」は、高齢者とその家族の強い味方でないと困りますよね。

小学校で習った漢字

小学1年生のときには、80字の漢字を習うそうです。「一」「右」「雨」と、音読みの五十音で始まり、「耳」や「車」や「手」や「中」などがあり、「力」「林」「六」で終わっています。これらの漢字を上手に組み合わせると、様々な言葉が生まれてゆきます。「手」と「中」を組み合わせると「手中におさめる」の「手中」という言葉が生まれます。「一」と「手」を組ませると「一手に引き受ける」「一手販売」などの言葉が生まれます。このように、小学校の6年生までに習った漢字を組み合わせると、果てしなく言葉が生まれてきます。



パソコンを使うようになって、漢字はパソコンの「変換」キーを押せば簡単に漢字が表示されます。また、言葉の意味も表示されるので辞書を引くこともなくなりました。おかげで、便箋に字を書くと、あれと漢字が思い出せなくなることが増え、あわてて辞書を引いて「なんだ、これだったのか」と独り言をつぶやくことも。これではいけない、頭をぼけさせないためにも、パソコンを頼らず辞書を片手に字を書くように日記を書き始めました。

問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター 担当 赤嶺 080-4209-5708

9月の回想おしゃべり

開催場所 歴史民族資料館
開催時間 13時30分～15時
開催日 27日(土)

9月のおしゃべりサロン

開催場所 市役所地下元職員食堂
開催時間 2時～4時
開催日 8日(月)、22日(月)